男女共同参画情報コーナー

とらいあんぐる

～一人一人が幸せを実感できるまちへ～

【編集】＝「とらいあんぐる」編集員
【問合先】＝本庁企画政策部 ひとみらい政策課 ひとみらい政策グループ
TEL(23)5111(内線 4741)

男女共同参画フォーラム in 薩摩川内　開催レポート

7月14日(土)、国際交流センターにおいて「男女共同参画フォーラム in 薩摩川内」が開催されました。

今年は、元厚生労働事務次官の村木厚子氏を講師に迎え、第1部は基調講演、第2部は基調講演の感想や日頃の思いを参加者同士の対話を通して共有するダイアログカフェを実施しました。

第1部　基調講演

【演題】あきらめない！女性も男性も仕事と家庭を大切にできる社会を創ろう。

村木氏は、国際的に見た日本の少子高齢化、社会的な男女格差の現状などを説明され、自身の子育てと仕事の実体験を交えながら、女性も男性も仕事と家庭を大切にできる社会を目指すために必要なことについて講演されました。

また、冤罪事件で経験された拘置所生活のことを、ユーモアを交えて話されると、会場は笑いに包まれていました。

【講演の概要】

■女性の社会進出の現状

・女性の社会進出が進んでいる国ほど出生率も高い傾向にある。

・日本の女性の社会への参画は進んできているが、男女格差の度合いを示す男女格差指数上は、世界各国と比べてまだ差が大きい。

■男女が共に仕事と家庭の両立を

・家事・育児は、女性だけが頑張るのではなく、みんなで共有を。家庭内での夫の自立が必要。

・男性も女性も仕事と家庭を頑張れるように、社会(会社)が変わらなければならない。そのための働き方改革でもある。

■働く上でのアドバイス

・新しい仕事は引き受ける。仕事を足し算で捉えるのではなく、不得手でも経験したことは掛け算になると考える。

・昇進の話があったら受けよう。昇進は階段を上るのと似ている。下段にいると背伸びやジャンプが必要。上に行くとジャンプしなくても見えなかったものが見えてくる。

・悩み過ぎない。考え過ぎるとパフォーマンスが落ちる。仕事で借りをつくっても、いつか返せばよい。

・一人一人多様な働き方がある。その人に合った評価をしてほしい。

・冤罪事件での拘置所生活で頑張れたのは、「好奇心を持つこと」「今までの経験」「気分転換」「食べて寝ること(生活の基本)」の4つがあったから。生きていく上で共通する点でもある。

【来場者の感想(アンケートより)】

・男性の家庭内活躍(家事時間)が男女共同参画にとても大切だと思いました。(30代女性)

・人生のお薦めの3カ条(新しい仕事、昇進、ネットワークをつくる)が興味深かったです。現役のときにこのような心構えがあったら、自分の仕事もパワーアップしていたのではないかと思います。(70代男性)

・大変な経験をされたにもかかわらず、明るくユーモアを交えながら、ざっくばらんに自身の話をしてくださいました。笑顔の素敵な柔らかい、かわいらしい雰囲気。でも「できる女性！」ということがひしひしと伝わりました。(40代女性)

・若いとき、夫や周りの無理解の下、仕事は捨てました。とっても悔やまれます。今からでもできることがあればチャレンジして、好奇心を持ち続けたいです。(60代女性)

「村木厚子氏と語ろう会」を上甑島で開催しました

7月15日(日)、里支所内に甑島住民約20人が集い、村木氏を囲んでの語ろう会を開催しました。

村木氏は、甑島での伝統的な共助の営みや、子育て支援の現状などを聞き、それに対する自身の考えを述べられ、有意義な対話となりました。

第2部　ダイアログカフェ

ダイアログカフェには、約70人の方が参加し、ワークショップデザイナーの髙﨑恵氏の進行の下、10グループに分かれてワークショップを行いました。

話し合いを始める前に、髙﨑氏から対話をする際の約束事の説明がありました。

グループメンバー同士の自己紹介から始まり、「つぶやきカード」に、基調講演を聴いて学びが深まったことへの喜びや、日頃感じているさまざまな思いなどを自由に記入し、それをグループ内で発表し合い、対話を通して、それぞれの思いを共有しました。

「国によって社会や制度に違いがあることが分かった」「女性が活躍したくてもできない事情が理解できた」という意見や、「声を上げにくい社会の下では、それぞれの思いや体験が表に出てきにくい」との意見もあり、多くの有意義な意見が交わされ、初めて参加した方も、4つの約束事があることで、気後れすることなく自分の思いをつぶやいていました。

和やかな雰囲気の中、どのグループでも熱心に意見が交わされ、話し合いを深めました。最後に、グループの代表がグループ内での意見交換の内容を発表し、それに対する村木氏、オフィスピュア代表たもつゆかり氏、小林洋子鹿児島県副知事からコメントがあり、閉会となりました。

以下、参加された方の「つぶやき」を紹介します。

男女共同参画フォーラムを支える手話通訳さんに質問しました

Q 普段の手話通訳をされる際、特に心掛けていることは何ですか？

A 舞台通訳は一般的な日本語手話で行っていますが、個人通訳では、相手の方の表情を見ながら、手話以外の身振り手振りや筆談なども合わせて、分かりやすいコミュニケーションを取るように心掛けています。

Q 講師の方が話すのと同時に通訳をされていらっしゃいますが、どんなときに難しさを感じますか？

A 横文字や新しい言葉が出てきたときです。正しい情報を伝えられるように気を付けています。

日頃から常に新しい知識を得るようにしています。講演者の本を読んだり、インターネットで講演の実績を調べたりして、準備をしています。